

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。 | | | | | |
|--|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 次のステップに向けて取り組みたい内容 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 26 | 介護計画、アセスメント、モニタリングの基本を忘れずわかりやすく詳細に記載していく。職員間での情報交換をしっかりと行う。 | 介護支援計画やアセスメントなど、誰がみても、その人の人物像がわかるようにさらに詳しく明確に記載していく。 | センター方式を利用しているが、さらに課題分析や、24時間シートも活用し、心身の状況、ADL等の詳細な能力をわかりやすく記載していくようにする。 | 24 ヶ月 |
| 2 | 4 | 運営推進介護を開催する中で、市役所、民生委員、包括支援の方だけでなく、地域の消防団や、警察の方にも参加を呼びかけ、サービスの向上につなげていく。 | 運営推進会議を利用して、避難訓練を地域の方と一緒にいたり、災害時の事を話し合ったり、地域の情報も得たりしながら、施設のことをよく知っていただく。 | 運営推進会議を通して、地域との関わりを深め、保育園や、小中学生が立ち寄りやすく、介護の仕事に興味を持って行けるように呼びかけていきたい。避難訓練等を通して、地域の方や消防団との連携も図りたい。 | 24 ヶ月 |
| 3 | 6 | 身体拘束委員会を開き、身体拘束は行わないを全職員で念頭におきケアに努める。 | 身体拘束は行わないことを職員間で徹底する。 | 身体拘束は絶対の行わない！取り決める。身体の状況などで対策が必要な時はアセスメントを行い、リハビリ職員や他職種との連携を図りながら、転倒予防の対策を講じるようにする。 | 12 ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |